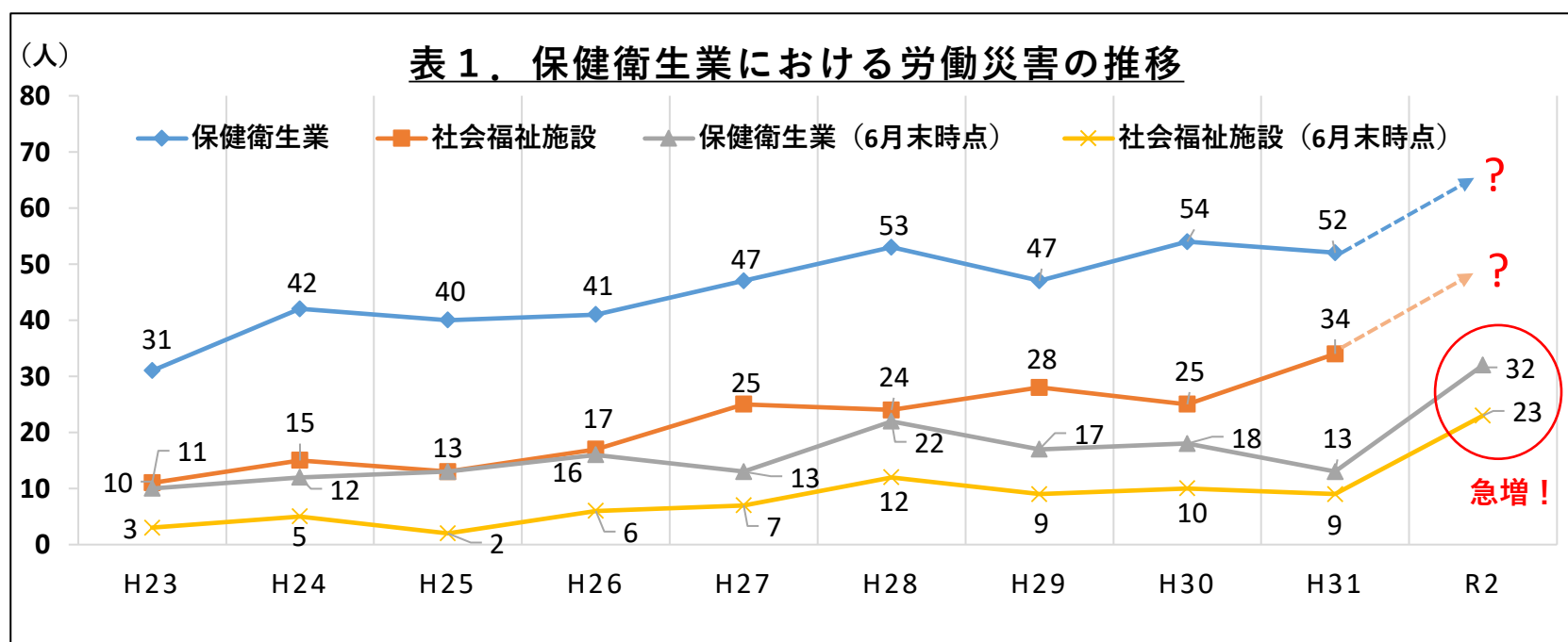


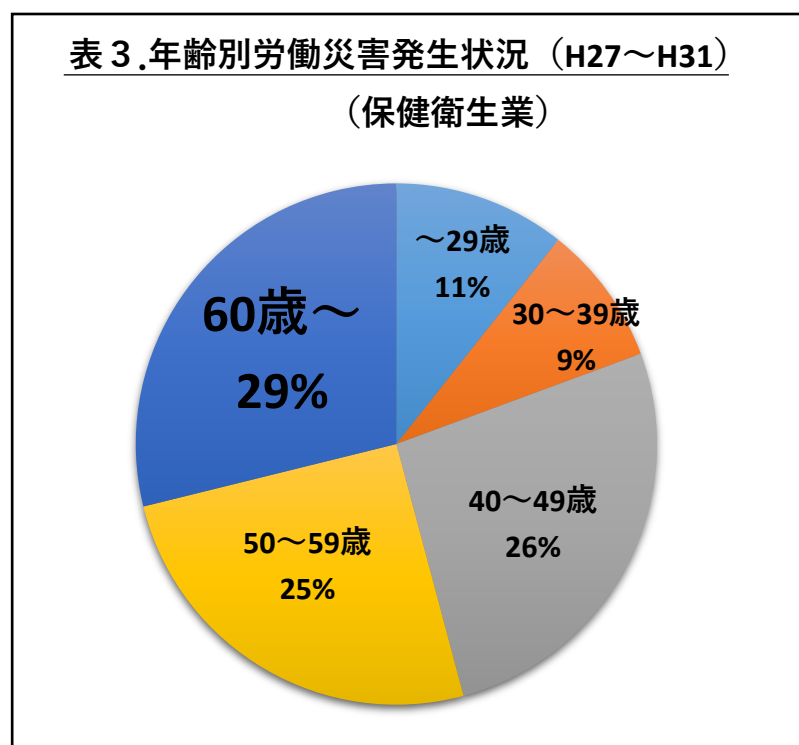
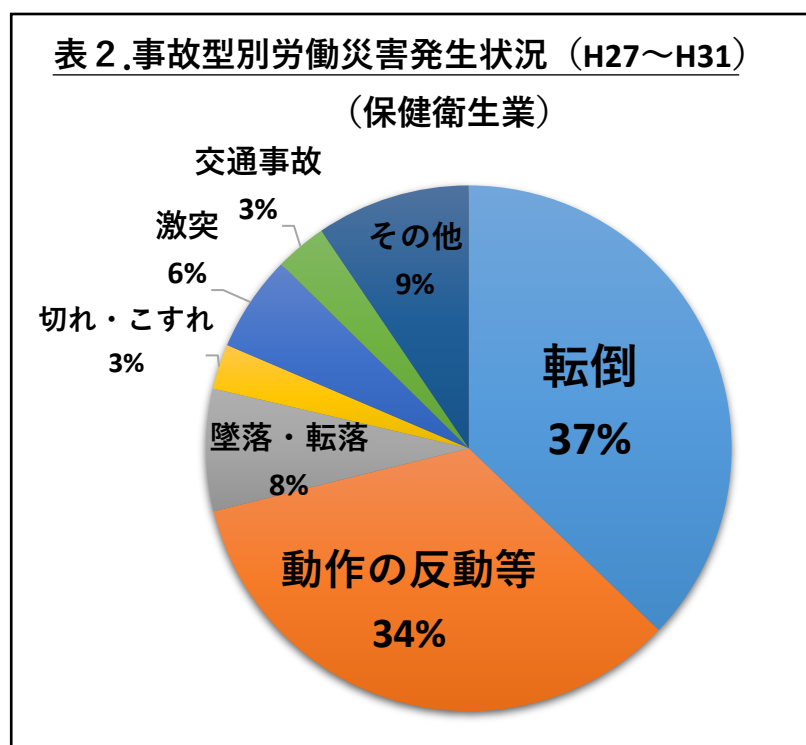
# 保健衛生業の労働災害が急増しています！

当署管内における保健衛生業（社会福祉施設を含む）の労働災害（休業4日以上<sup>1</sup>の死傷者数）は増加傾向にあり、令和2年6月末現在の速報値で32人となり、前年同期の13人と比べ**19人（246%増）もの大幅増加**となっています（表1）。特に、社会福祉施設においては前年同期の9人から**大幅増加の23人（256%増）**となっています。

この労働災害の増加に歯止めをかけるため、職場の安全衛生管理活動の総点検を実施しましょう！（裏面のチェックリストを活用してください。）



- ① 労働災害を事故の型別にみると、「**転倒**」と「**動作の反動等（腰痛等）**」が全体の約7割を占めています（表2）。保健衛生業における労働災害を減少させるためには、この2つの型の労働災害防止を重点とした対策を講じることが重要です。
- ② **60歳以上の高齢労働者**の災害が全体の約3割を占めています（表3）。「高年労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（通称：エイジフレンドリーガイドライン）」を事業者及び労働者の双方が一体となって取り組みましょう。



## チェックリスト

チェック項目		☑
1	4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水濡れ、油汚れ等の小まめな清掃、台車等の障害物の除去、介護、保育等の作業ができるスペース・通路の確保等による転倒・腰痛災害の防止を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
2	作業マニュアルを労働者に周知、教育していますか。	<input type="checkbox"/>
3	KY（危険予知）活動による危険予知能力、注意力の向上に取り組んでいますか。	<input type="checkbox"/>
4	ヒヤリハット活動による危険個所の共有、除去を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
5	危険個所の表示による危険の「見える化」を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
6	施設長、安全担当者等による定期的な職場点検を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
7	朝礼等で安全意識の啓発を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
8	転倒防止に有効な靴、切創防止手袋等の着用の推進、介護機器・用具等の導入、使用の推進、熱中症予防のための透湿性・通気性の良い服装の活用などを行っていますか。	<input type="checkbox"/>
9	腰痛予防対策指針に基づく労働衛生教育や健康診断を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
10	腰痛・転倒予防体操を励行していますか。	<input type="checkbox"/>
11	熱中症予防のための休憩場所・時間の確保を実施していますか。	<input type="checkbox"/>
12	高齢労働者の特性に配慮した職場環境づくりに取り組んでいますか。	<input type="checkbox"/>

### STOP！ 転倒災害プロジェクト

★厚生労働省と労働災害防止団体では、転倒災害を撲滅するため、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

「STOP! 転倒災害プロジェクト」に関する各種情報はこちら



### 腰痛予防対策

★厚生労働省では「職場における腰痛予防対策指針」を策定し、腰痛防止対策を推進しています。

腰痛対策に関する各種情報はこちら



### 高齢労働者の安全衛生対策

★厚生労働省では、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）を策定し、高齢労働者の労働災害防止を推進しています。

高齢労働者の安全衛生対策に関する各種情報はこちら

